

ミュージアム & シアターの最新情報 [アート・ニュース・トーキョー]

ART NEWS TOKYO

JP/EN
BILINGUAL

Museum and Theatre Information



古坂大魔王さん
×
東京都庭園美術館

featuring: Kosaka Daimaou

2018 04-07

Kosaka Daimaou

Comedian, Producer

古坂大魔王 芸人、プロデューサー



美術もお笑いも、根底にあるものは同じ 作品を生み出す原動力は「感動」

Art and laughter : a common foundation
The driving force of creation is *emotion*

約1分の動画『PPAP(ペンバイナッポーアッポーベン)』が、動画投稿サイトで1億2000万回以上再生されるなど、世界を席巻した“ピコ太郎”。そのプロデューサーであり、芸人、楽曲制作など、クリエイターとしてもマルチな才能を持つ古坂大魔王さんが、目黒にある東京都庭園美術館を訪問。1933年に朝香宮邸として建てられ、戦後は、後に首相となった吉田茂の外務大臣公邸や迎賓館としても活用されたアール・デコの館で、敏腕プロデューサーが感じたものとは？

The multi-talented entertainer Kosaka Daimaou, known as PIKOTARO's producer, comedian, songwriter..., made a visit to Tokyo Metropolitan Teien Art Museum.

Text: Seiichiro Furusawa, Photos: Tatsuro Kakishima (Pointer), Stylist: Takafumi Tsukamoto, Hair & Make: Mio Matsumoto (GON.)
撮影協力: 東京都庭園美術館 ※①②③は、「装飾は流転する 「今」と向きあう7つの方法」(～2018年2月25日)での展示作品です。現在はご覧いただけません。

東京都庭園美術館は “カツカレー”？

美術作品を見て楽しむのって、「想像」と「現実の視覚」の融合ですよね。僕みたいにマンガやアニメが好きなら美術館は絶対に楽しいと思いますよ。特に東京都庭園美術館は、玄関のガラス扉「翼を広げる女性像」からもう凄くて、「『魔法少女まどか☆マギカ』の悪夢のシーンって、こういう作品にルーツがあるのかな」なんて想像しちゃいましたし、「フランスに行つてこういうものを見て帰ってきたんだ

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum is...katsu curry?

Appreciating museum art takes a combination of imagination and observation. If you love manga and anime like me, you'll definitely have fun at an art museum. I was amazed from the moment I entered the entrance hall, with the glass doors featuring a standing female figure surrounded by a backdrop of open wings design. I had thoughts like “I wonder if the nightmare scene from *Puella Magi Madoka Magica* was inspired by something like this”, or “They went to France and were inspired by something like this”, or “I've seen the photographs

とか「あの写真の吉田茂さんはここに座ってたんだ!」と思える感動があつて。ある程度大人になって自分に知識が増えたと、重ね合わせて見えるものが増えるので、やっぱり「美術館っていいものだな」って思いますね。ある番組で勉強したんですけど、人間って脳内シナプスを光らせるために生まれてきた。脳の電気信号が刺激なんですよ。その刺激を浴びるために生きていて、それさえ得られれば、幸せなんです。そういう意味では今回、迎賓館でもあった歴史的な建物の中で、現代アートの作品を展示している「装飾

that Shigeru Yoshida was sitting here!”. I found it all very impressive. We humans are born for the purpose of activating the synapses in our brain, and the brain's electrical signals are the stimuli. As long as we can get a lot of different stimuli, we'll be happy. With that in mind, this visit to Tokyo Metropolitan Teien Art Museum that has history both as a state guest house and as an exhibition space, you can say I got two kinds of stimuli. I suppose its a bit like katsu curry in that way (laughs).

The power of the “originator”

I have a talent for amusing myself; it's

は流転する」展(～2月25日)を拝見できたので、二重のお得感がありました。僕にとっての庭園美術館って、もはや“カツカレー”ですね(笑)。

“オリジネーター”が最強

僕は面白いのが得意で、これには自信があります。自分が楽しくさえしていれば、絶対楽しくなるんですよ。「おいしいね」って言って食べたらいしいし、「まずいね」って言った瞬間にまずくなっちゃうんです。貧乏性だから、損

something I have confidence in. If I can manage to approach things in a fun way, then I'll definitely enjoy myself. Nowadays everyone views things - comedy, TV - everything - with a critical eye. By



殿下寝室 ①山縣良和《地球ルック》



大客室

②ヴィム・デルヴォワ《低床トレーラー》(1/6スケールモデル)、《ダンプカー》(1/6スケールモデル)

したくないんですね(笑)。今、お笑いもテレビも全部、みんな審査しようとするでしょ。「これはこうだよ」って分析をすることによって自分が優位に立てる気になります。でもこれは絶対違うと思っています。やっぱり評論したところで新しいものは作れない。じゃなんで作る人がいるかというと、きっと感動して「自分も作りたい」と思ったはずなんですよ。大事なのは感動すること。だから僕はお笑いも音楽も、興味のないものでも、できるだけいいと

analysing and passing judgement, you can feel a sense of superiority. But I think that's wrong. Nothing happens by criticizing someone's work. Creators exist because they were moved by someone's work. That emotional impetus is important. That's why when it comes to comedy, music, even things I'm not interested in, I try to find the positives. Entertainment is kind of a useless

ころを探すようにしています。

もともと芸能だって無駄なものですし、求められていないものを作るって超怖いことなんです。だから僕は、「傾^{カブ}こうとしている人間」が大好きです。すごい度胸があるじゃないですか。基本的に迎合しない行為ってマイナスが多いけど、それを選んでいるっていうのは、相当な技術が説得力があるんですよ。アバンギャルドやシュールって「どれだけ王道から外せるか」なんですけど、最強なのは、自分だけの表現をで

thing, and it's extremely scary creating something that no one has asked for. "Avant-garde" and "surreal" artists try to see how far they can push things from the norm, but I think the really powerful artists are the "originators" - the ones who express themselves in a truly unique, original way. To do that, of course you need skill and experience, and knowledge on top of that. In my case, I was unable to

きる“オリジネーター”なんです。そうなるためには、やっぱり技術と経験、そして知識が必要。美術作品も同じで、ピカソの抽象画も一見すると意味がわからないようだけど、実は初期のデッサンとかめっちゃくちゃ凄くないですか。基礎ができていいる正統派でもあるから、そこに自分だけのテイストを加味したものを出しても説得力がある。僕の場合は、その“オリジネーター”にずっとなれず、25年のあいだ何もヒットしなかったんですけどね(笑)。

become an originator for the longest time - I worked for 25 years without any great success (laughs).

Fundamentals and “deviation”

Young people often say that you have to break conventions, or do something that no one's ever done before. When I started out as a comedian, my act was completely

大事なのは、「基礎」と「ズラシ」

よく若い人は「基礎を破壊しなきゃ」とか、「誰もやっていないことをやらなきゃ」って言うでしょ。僕も若い頃は勉強しないって、ずっと言っていました。お笑いも最初からシュールばかりやっていたので、ベタができなかったんですよ。その頃はやっぱりダメでした。悩んで、あがいて、解決できなかったものが、勉強して解決できた時に、人は成長すると思うんですよ。僕も音楽はきちんと勉強しました。音楽だけをやってた時期が3年位あって、普通のポップスからロック、ジャズ、HIPHOPを作るということを一通りやって、やっとズラせたんです。

surreal - I never wanted to resort to cliches. When I think about it, that period was pretty bad. I think we grow as people when, after worrying and struggling over a problem, we find the answer through studying. I studied music quite methodically for about three years, looking at the composition of everything from pop music to rock, jazz and hip-hop, before I was finally able to make my own kind of “deviation”. With “PPAP”, putting the ideas of “I have a pen” and “I have an apple” together to get

お笑いでもなんでも、まず1個目に思い付いたものを排除するっていうのは、バツと思い付きで出る、わかりやすい笑い。でもこの分かりやすい笑いはきつとみんなやっているよねと。『PPAP』の場合、「I have a pen」と「I have an apple」を合わせて「pen and apple」と言うのは普通だと思いますけど、それを刺してみても「Apple pen」としたのがズラシ。「何だよ、それ」ってツッコみもあえて入れず、ただピコ太郎みたいな変なおじさんを踊らせたこともズラシです。評論的には「つまんねえじゃん」になるんですけど、その裏には、トラックをめっちゃめっちゃ本気でガチで作って置いて、ミュージシャン的にはまさかかっていうところで「テュー

“pen and apple” is quite normal, but when I combine them to get “apple pen”, I’m putting my own mark on it - I’m “deviating”. Making a point of not explaining it - just having a strange guy like PIKOTARO dancing there - that’s another way of deviating. Critically speaking, you could say the gag is quite boring, but behind it all a lot of effort went into that track. From a musician’s point of view, putting that “tyoon” sound effect where I did is pretty stupid. Some of them complain (ironically)

ン」っていう音を流す。あれ、音楽的には愚の骨頂なんですよ。だから、「ずるいよ、あんなの笑っちゃうじゃん」っていう会話が成り立つんです。

ピコ太郎は僕が想像していた以上に羽ばたいてくれましたけど、今後はさらに世界、特にアジアに飛び出して、いろんな人とコラボレーションしたいと思っています。目標は2020年の東京オリンピック。出るだけじゃなくて、出た時に「なるほど!この人だよ」ってみんなが納得する存在になりたいです。まだこれから皆さんに驚いていただけるような仕掛けを考えていますので、楽しみにしてくださいね!

about how I manage to get laughs by breaking the rules. PIKOTARO grew much bigger than I ever imagined he would, but I think in the future I'd like to go further into the world, especially Asia, and collaborate with a lot of different people. My target is the 2020 Tokyo Olympics. I don't want to just appear - I want to be accepted, and for people to be like, “Oh right, it's that guy!” I'm thinking of a lot of ways to surprise everyone, so please look forward to what I have in store.



北側ベランダ(北の間)

③山縣良和《七服神》

古坂大魔王(こさかだいまおう)

1973年青森市生まれ。1991年にお笑いトリオ、底ぬけAIR-LINEのメンバーとしてデビュー後、芸人、クリエイター、プロデューサーなど各方面で鬼才ぶりをいかんなく発揮。特に、2016年にプロデュースしたピコ太郎の動画「PPAP(ペンパイナッポーアッポーペン)」は、YouTubeの週間再生ランキングで世界1位を獲得。2018年2月、ももいろクローバーZのキッズ向けプロジェクト「ももくろちゃんZ」とピコ太郎のコラボ曲『Vegetable』がYouTubeにて公開! また、avexと日本忍者協議会による「NINJA PROJECT」の「アジアPRアンバサダー」としても活動中。さらに、大反響を集めたピコ太郎初ワンマンライブ「PPAPPT in 日本武道館」が4月18日(水)にDVDとBlu-rayにて発売!

教えて！ミュージアム＆シアターの“中の人”

古坂大魔王 × 神保京子(東京都庭園美術館学芸員)



次室

アンリ・ラバン《香水塔》

アール・デコの館に刻まれた80年の歴史をたどる、年に一度の「建物公開展」

神保 本日、東京都庭園美術館をご案内いたします学芸員の神保です。まず当館は1933年に完成したアール・デコ建築の名作で、元々は朝香宮鳩彦王の邸宅でした。朝香宮ご夫妻が、1925年にパリでアール・デコ博覧会をご覧になられ、フランスと日本の英知を結集して作られた、世界的にも貴重な建物なんです。

古坂 ヘー！そもそもアール・デコって何ですか？美術の様式でしたっけ。

神保 はい。アール・ヌーヴォーの時代に続いて、1910年代から30年代にかけて流行した様式で、機械化が進む中、合理性のある機能的なデザインに特徴がみられるんです。建物の随所にも幾何学的なモチーフが繰り返し用いられているのが分かります。

古坂 80年以上前の建物なのに、今見てもいいですねえ！僕の大好きなウルトラマンにも通じる近未来感があるというか。

神保 そうかもしれないです！私も今始めて「ウルトラマンってデコだった

んだ」と気が付きました(笑)。装飾性を廃したといわれるアール・デコですが、実は装飾的な美を求め、慈しむ感覚があったんです。こちらの《香水塔》は当館のハイライトの一つ。上部の照明部分に香水を施して香りを漂わせた、といわれてきたのが呼称の由来です。

古坂 大きなアロマポットだ！

神保 まさにそうですね。この《香水塔》を含めて、各部屋には水や植物等のモチーフが度々出てきますし、大食堂の天井に吊るされた照明を見ても面白いですよ。

古坂 あー、パイナポールのモチーフがありますね！アポーも探せば見つかるかな？(笑)。いやしかし、建物自体が美術ですねえ。

神保 そうなんです。今回の展覧会『建物公開 旧朝香宮邸物語』では、この建物の歴史をたどりながら、そこを往来した人々や出来事についてもご紹介したいと思っています。たとえば当館は、戦後、吉田茂元首相の外務大臣公邸としても使用されていて、2階の書

斎で撮られた写真は有名なんです。**古坂** その写真、見たことあります。うわー、今見ても超カッコいい書斎じゃないですか！

神保 当館の中でも特にアール・デコの特徴が生かされた空間ですね。

古坂 こうやって説明を伺いながら回るとすごく楽しいですねえ。あと、こんなに広い土地がある場所なのに、ちょっと狭い部屋があるのも「日本人だなあ」と思いました。

神保 サイズ感は確かにそうですね(笑)。日本的なものと西洋的なものが混在しているのも、当館の面白さです。また東京都庭園美術館は、数年かけて行ってきた全てのリニューアル工事が完了し、3月21日に総合開館したばかりです。整備された西洋庭園と改築されたレストランも、建物公開展と併せて楽しんでいただければと思います。

建物公開 旧朝香宮邸物語
3月21日(水・祝)～6月12日(火)
▶詳細はP.08

古坂さん、こんな Art & Culture はどうでしょう？

Tokyo's upcoming art and culture program curators recommend.

●江戸から大江戸へ。繁栄の過程をNHKスペシャルと連動でご紹介。【東京都江戸東京博物館】

NHKスペシャル関連企画「大江戸」展

NHK SPECIAL related exhibition "OEDO" [Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum]



東京都江戸東京博物館
学芸員：青藤慎一

江戸がいかにして大都市に成長したのかは未だに判明していないことも多く、とりわけ徳川家康が来た当初の江戸城については謎だらけで興味が尽きません。今回は絵図の分析から、後の時代とは異なる様相がわかりました。注目ですよ！

There are many aspects of the history behind Edo's sudden growth into a metropolis that remain unclear to this day – I'm particularly interested in the mysteries of what Edo Castle was like when Ieyasu Tokugawa first arrived. We have an analysis of the castle's layout, in the context of changes made in later periods. Don't miss it!

18歳で青森から東京に出てきた時は、あまりにも都会で「これぞ大江戸！」と思いました(笑)。歌舞伎や大道芸など娯楽が江戸時代に花開いたのも、徳川家の圧倒的な権力があってからですよ。エンターテインメントは、平和だから発展するんだと思いますよ。

I think the fact that forms of entertainment like kabuki and street performing flourished during the Edo Period was down to the overwhelming political power of the Tokugawa family. Entertainment develops during times of peace.



詳細はP.09

●子供はもちろん、大人も童心に返ってめいっぱい楽しめる恒例イベント。【江戸東京たてもの園】

こどもの日イベント

Children's Day event [Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum]



江戸東京たてもの園
学芸員：阿部由紀洋

園内東ゾーンの商店が建ち並ぶ一角で行われる「おつかいゲーム」。買い物かごを持った子どもたちが、おつかいメモを片手にお店をめぐります。このほか、子どももおとなも熱くなる「ペーゴマ大会」やペーパークラフト作りなど、盛りだくさんの2日間です。

A scavenger hunt around the shops in the East Zone, where children will carry a basket and a scavenger list and visit the different shops. Adults can also get excited about the beigoma (spinning top) contest, and there will be paper craft and other activities.

父がものをつくるのが得意で、祖父も大工だったので、子どもの頃に一緒に椅子とかを作っていました。それがすごく楽しかったんですよ。手を動かす遊びって、子どもたちにとって絶対面白いし、忘れられない経験になりますよね。折り紙なんて最高のiPadですよ！

Kids love activities where you use your hands – these things become unforgettable experiences. Origami is like a really good iPad.



詳細はP.10

●美術館を舞台に、楽しく学べる作品鑑賞。【東京都写真美術館】

「TOPコレクション たのしみ、まなぶ」イントウ・ザ・ピクチャーズ／夢のかけら

TOP Collection: Learning – Into the Pictures / The Fragments of Dreams [Tokyo Photographic Art Museum]



東京都写真美術館
学芸員：武内厚子

34,000点を超えるコレクションから選りすぐりの名品を紹介する本展は必見です！学校や本による学びとは異なる美術館ならではの「たのしみ」や「まなび」がきっとあるはず、関連プログラムなども充実。スタンプラリーや対話型作品鑑賞会はおすすめです。

This careful selection of notable works from the museum's collection of over 34,000 pieces is not to be missed! I recommend the stamp rally and interactive viewing session.

作品の感想をみんなで言い合って、色々な事に気付いていくワークショップもあるんですね。すぐネットでいいじゃんって話になるけど、実際に会って話すのとはまったく違う。美術館を使った学びは、正解がないからこそ面白いですよ。

People might say you can do that on the internet, but doing it in person is a completely different experience. Learning through a museum is interesting because there is no right answer.



詳細はP.11



アール・デコ・リヴァイヴァル!

「建物公開 旧朝香宮邸物語」 / 「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」

3月21日(水・祝)～6月12日(火)

Art Deco Revival!

Walls that Talk : Stories from the Former Prince Asaka Residence /

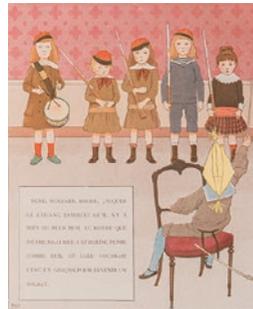
French Picture Books : Collection of Shigeru Kashima

Mar. 21 Wed. – Jun. 12 Tue.

東京都庭園美術館は今春、2つの展覧会を同時開催します。「建物公開 旧朝香宮邸物語」を行う本館は、朝香宮邸として誕生した後、戦後は吉田茂元首相(兼外相)の外務大臣公邸や迎賓館として活用されました。多くの人々の記憶と歴史が刻まれた美術館本館一アール・デコの館に注目する展覧会です。また新館ギャラリー1での「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」はフランス文学者・鹿島茂氏が30年に渡り収集してきた絵本コレクションを初公開。フランス絵本の黄金時代を牽引してきた作家たちを厳選して紹介します。



旧朝香宮邸次室・香水塔 1933年竣工時



アナトール・フランス著/モーリス・ブテド・モンヴェル絵『われらの子どもたち』より ©NOEMA Inc. Japan

観覧料: 一般900(720)円、大学生・専門学校生720(570)円、中高生・65歳以上450(360)円、小学生以下、都内在住・在学の中学生無料。()内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料(詳細はP.28)。※上記観覧料で2つの展覧会をご覧いただけます。

休館日: 第2・4水曜日(祝休日の場合は翌平日)

★桜の季節の夜間開館: 3月23日(金)～4月7日(土)の金曜日、土曜日は20:00まで開館します。(入館は19:30まで)

Admission: Adults: ¥900 / College and Vocational students: ¥720 / High school and Junior high school students and Seniors (65 and over): ¥450 / Junior high school students living in or commuting to Tokyo, Elementary school students and younger: Free

Closed: 2nd and 4th Wed. (When 2nd and 4th Wed. are national holiday, closed on the following weekday)

Night time open for cherry blossoms: Every Fri. and Sat. from Mar. 23 Fri. to Apr. 7 Sat. will open until 20:00.

ブラジル先住民の椅子

6月30日(土)～9月17日(月・祝)

Benches of the Brazilian Indigenous Peoples

Jun. 30 Sat. – Sep. 17 Mon.

動物のフォルムに独特な幾何学模様が施された木の椅子。全て、一木(いちぼく)から接ぐことなく彫り出されています。儀礼用に作られた道具は、やがて外界との接点を経て“見られる”ものへ変容していきます。本展では、ブラジル・サンパウロの出版社であるBEIコレクションの椅子約90点から、想像力豊かな野生動物の造形表現に迫ります。

A wooden chair where an animal's form is expressed in geometric shapes, molded from a single tree. Tools created for ceremonial purposes eventually transcend into objects to be viewed. We will feature around 90 works from the collection of BEI, a publishing company based in Sao Paulo, Brazil, and study the relationship between primal imagination and constructive expression.



カマルヘ(メイナク)《サル》 ©Coleção BEI

観覧料: 一般1,200円(960)円、大学生・専門学校生960(760)円、中高生・65歳以上600(480)円、小学生以下、都内在住・在学の中学生無料。()内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料(詳細はP.28)。

休館日: 第2・4水曜日(祝休日の場合は翌平日)

Admission: Adults: ¥1,200 / College and Vocational students: ¥960 / High school and Junior high school students and Seniors (65 and over): ¥600 / Junior high school students living in or commuting to Tokyo, Elementary school students and younger: Free

Closed: 2nd and 4th Wed. (When 2nd and 4th Wed. are national holiday, closed on the following weekday)



NHKスペシャル関連企画「大江戸」展

4月1日(日)～5月13日(日)

NHK SPECIAL related exhibition “OEDO”

Apr. 1 Sun. – May. 13 Sun.



東都名所 日本橋真景并二魚市全図 歌川広重画

観覧料: 一般600(480)円、大学生・専門学校生480(380)円、高校生・中学生・65歳以上300(240)円、小学生以下、都内在住・在学の中学生無料。()内は20名以上の団体料金。※常設展観覧料でご覧になれます。※4月1日(日)は観覧無料。
休館日: 月曜日(4月2日・30日は開館)

Admission: Adults: ¥600 / College and Vocational students: ¥480 / High school and Junior high school students, Seniors (65 and over): ¥300 / Junior high school students living in or commuting to Tokyo, Elementary school students and younger: Free
Closed: Mon. (Except Apr. 2, 30)

Check! 歌川広重「東都名所 日本橋真景并二魚市全図」からは、魚河岸があった当時の日本橋界隈の賑わいが伝わってきます!

4月29日(日・祝)から放送が予定されているNHKスペシャル「シリーズ 大江戸」(全3回)の関連企画。「大江戸」という名が史料に現れるのは18世紀中頃、推定人口100万人を超えたあたりからで、この頃には、上方を凌駕する経済力を持ち、独自の文化を成熟させていきました。1590年(天正18年)徳川家康の入封以前は小さな城下町だった「江戸」が、いかにして政治・経済・文化の中心へと発展していったのか。「江戸の成り立ち」「江戸城の絵図」「火事と江戸」「水辺の風景」「写された風景」の5つの視点から追ひ、巨大都市「大江戸」の繁栄の歴史、大都市としての特性を見つめます。

A program linked to the NHK SPECIAL “Series OEDO”, planned for broadcast in three parts starting Apr. 29 Sun.. The name “Oedo” first appears in historical records in the mid-18th century, around the time the city’s population is estimated to have passed one million. Edo began to outstrip the Kyoto-Osaka area in economic power, and developed its own unique culture. When Ieyasu Tokugawa moved the capital here in 1590, Edo somehow transformed from a small castle town to the center of political, economic and cultural development. Looking at the city from five perspectives (“Edo Origins”, “Design of Edo Castle”, “Fire and Edo”, “Waterside scenery”, “Scenery depictions”), the exhibition will study the history behind the prosperity of “Oedo”.

写楽の眼 恋する歌麿ー浮世絵ベストコレクションー

4月1日(日)～5月6日(日)

The Gaze of Sharaku / Utamaro in Love: Ukiyo-e Masterpieces from the Museum Collection

Apr. 1 Sun. – May. 6 Sun.



市川鯉蔵の竹村定之進 東洲斎写楽/画

4月再オープンを記念して、東京都江戸東京博物館の珠玉の名品を公開します。18世紀後半に江戸文化の最前線を担った2人の絵師、東洲斎写楽と喜多川歌麿の浮世絵を特集展示。新たに収集した作品も初披露するとともに、関連資料を含め30点を特選して展示します。

To mark the April reopening, the Edo-Tokyo Museum will exhibit some of the very best pieces in its collection. A special exhibition will feature the ukiyo-e works of Sharaku Toshusai and Utamaro Kitagawa. A total of 30 pieces will be on display, including recently acquired works and related documents.

観覧料: 一般600(480)円、大学生・専門学校生480(380)円、高校生・中学生・65歳以上300(240)円、小学生以下、都内在住・在学の中学生無料。()内は20名以上の団体料金。※常設展観覧料でご覧になれます。※4月1日(日)は観覧無料。
休館日: 月曜日(4月2日・30日は開館)

Admission: Adults: ¥600 / College and Vocational students: ¥480 / High school and Junior high school students, Seniors (65 and over): ¥300 / Junior high school students living in or commuting to Tokyo, Elementary school students and younger: Free
Closed: Mon. (Except Apr. 2, 30)

Check! 江戸東京博物館のマークデザインのもととなった鯉蔵(えびぞう)の目。その見得を切った風格のある役者大首絵。当館では初披露です!

東京150年記念 「看板建築展」

3月20日(火)~7月8日(日)

Signboard Architecture

Mar. 20 Tue. - Jul. 8 Sun.



(左から) 武居三省堂(文具店)、花市生花店、丸二商店(荒物屋)

1923年、東京は関東大震災により灰燼に帰しました。その後、仮設の住宅や商店が建ち並び、復興への道を歩み始めた東京は、やがて鉄筋コンクリート造のビルが建ち並ぶ近代的な街並みへと変貌を遂げました。その一方、真っ平らな建物の表面に銅板やタイルなどが張られた木造の商店建築も数多く建てられました。「看板建築」です。誕生から90年以上経過した今、数を減らしつつある看板建築の特徴とその魅力を紹介しします。

In 1923, Tokyo was reduced to ashes by the Great Kanto Earthquake. Over the years of the city's restoration, Tokyo's buildings transformed from temporary housing and shops to the modern concrete metropolis we know today. During those years, many wooden shops were constructed with copper or tile cladding on their flat facades - what is now known as "signboard architecture". 90 years later, this exhibition will highlight the features and charms of this slowly disappearing architectural form.

Check!

看板建築は、建物の正面に銅板やタイルを張るだけではなく、全体的に意匠を凝らした造りになっているのが大きな魅力!

こどもの日イベント

5月4日(金・祝)・5日(土・祝)

Children's Day event

May. 4 Fri., 5 Sat.



恒例の「こどもの日」イベントを今年も開催します。おつかいゲームやこどもの日にちなんだ催しなど、家族で楽しめるイベントが盛りだくさん。

The regular Children's Day event will take place again this year. There will be plenty for the whole family to enjoy, including a scavenger hunt and many traditional Children's Day pursuits.

七夕のつどい

7月7日(土)・8日(日)

Summer Gathering

Jul. 7 Sat., 8 Sun.



願い事を書いた短冊等を笹に飾った七夕飾りの展示や、七夕にちなんだイベントを開催。

A display of wishes tied to bamboo branches for Tanabata, in addition to other Tanabata-themed events.

入園料: 一般400(320)円、大学生320(250)円、中学生(都外)・高校生・65歳以上200(160)円、小学生以下・中学生(都内)無料。()内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料(詳細はP.28)。

休園日: 月曜日(祝休日の場合は翌平日。ただし、4月2日・9日、5月1日は開園)

Admission: Adults: ¥400 / College students: ¥320 / Junior high school students living outside Tokyo, High school students and Seniors (65 and over): ¥200 / Elementary school students and younger, Junior high school students living in Tokyo: Free

Closed: Mon. (When Mon. is a national holiday, closed on the following weekday. Except Apr. 2, 9, May. 1)

P.29 → Map 03

4-9月 9:30-17:30、10-3月 9:30-16:30

写真発祥地の原風景 長崎

3月6日(火)~5月6日(日)

Geneses of Photography in Japan: Nagasaki

Mar. 6 Tue. - May. 6 Sun.



プロイセン東アジア遠征団写真班《(長崎パノラマ)》(部分)1861年 鶏卵紙
 The Prussian East Asian Expedition Photographic Team,
 Nagasaki Panorama (part), 1861, Albumen paper

日本の写真発祥地である長崎を捉えた初期写真を中心に、幕末・明治の姿を再構築する連続展の第一弾。明治150年を記念して開催する本展は、初期写真だけでなく古地図や絵画・工芸などのオリジナル作品・資料を併せて展示します。

Focusing on the birthplace of Japanese Photography, Nagasaki, this exhibition will capture the early days of photography. Commemorating the 150th anniversary of the Meiji Restoration, early photographs and original works and materials including contemporary maps, paintings, craft items will be featured.

料金: 一般700(560)円、学生600(480)円、中高生・65歳以上500(400)円、小学生以下、都内在住・在学の中中学生無料。()内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料(詳細はP.28)。

休館日: 毎週月曜日(ただし4月30日と5月1日は開館)

Admission: Adults: ¥700 / College Students: ¥600 / High school and Junior high school students, Seniors (65 and over): ¥500 / Junior high school students living in or commuting to Tokyo, Elementary school students and younger: Free

Closed: Mon. (Except Apr. 30, May. 1)

内藤正敏 異界出現

5月12日(土)~7月16日(月・祝)

NAITO Masatoshi: Another World Unveiled

May. 12 Sat. - Jul. 16 Mon.



内藤正敏《お籠りする老婆 青森県・高山稲荷》(婆バクハツ!)より1969年 ゼラチン・シルバー・プリント
 Naito Masatoshi, from Old Women in a Burst!,
 Old women spending night at the shrine, Takayama-Inari, Aomori, 1969, Gelatin silver print

1960年代の初期作品から2000年代初頭までの代表的なシリーズによって内藤正敏の足跡をたどり、独自の宇宙観、生命観に基づいた写真表現の全貌に迫ります。

This exhibition will retrace the steps of photographer, Masatoshi Naito through his prominent collections from the 1960s up to the early 2000s, grounded in his own worldview and attitude to life.

料金: 一般700(560)円、学生600(480)円、中高生・65歳以上500(400)円、小学生以下、都内在住・在学の中中学生無料。()内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料(詳細はP.28)。

休館日: 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)

Admission: Adults: ¥700 / College Students: ¥600 / High school and Junior high school students, Seniors (65 and over): ¥500 / Junior high school students living in or commuting to Tokyo, Elementary school students and younger: Free

Closed: Mon. (When Mon. is a national holiday, closed on the following weekday)

TOPコレクション たのしむ、まなぶ

イントゥ・ザ・ピクチャーズ:5月12日(土)~8月5日(日) / 夢のかけら:8月11日(土・祝)~11月4日(日)

TOP Collection: Learning

Into the Pictures: May. 12 Sat. - Aug. 5 Sun. / The Fragments of Dreams: Aug. 11 Sat. - Nov. 4 Sun.



東京都写真美術館の収蔵作品を紹介するTOPコレクション。今年のテーマは「たのしむ、まなぶ」です。美術館ならではの学びや作品鑑賞のあり方をテーマに、すぐれた名品を紹介します。

Celebrating museums as places of study and artistic appreciation, this exhibition will display photographic masterpieces under the theme of "Learning".

ロベール・ドアン 《ピカソのパン》 1952年 ゼラチン・シルバー・プリント
 Robert Doisneau, Les pains de Picasso, 1952, Gelatin silver print

料金: 一般500(400)円、学生400(320)円、中高生・65歳以上250(200)円、小学生以下、都内在住・在学の中中学生無料。()内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料(詳細はP.28)。

休館日: 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)

Admission: Adults: ¥500 / College Students: ¥400 / High school and Junior high school students, Seniors (65 and over): ¥250 / Junior high school students living in or commuting to Tokyo, Elementary school students and younger: Free

Closed: Mon. (When Mon. is a national holiday, closed on the following weekday)

※図版はすべて東京都写真美術館蔵

03-3280-0099

URL ▶ <http://topmuseum.jp>

P.29 → Map 04

10:00-18:00(木・金曜日-20:00)



プーシキン美術館展——旅するフランス風景画

4月14日(土)~7月8日(日)

Masterpieces of French Landscape Paintings from The Pushkin State Museum of Fine Arts, Moscow

Apr. 14 Sat. – Jul. 8 Sun.



クロード・モネ《草上の昼食》1866年
Claude Monet, *Luceon on the Grass*, 1866
© The Pushkin State Museum of Fine Arts, Moscow.

珠玉のフランス絵画コレクションで知られるモスクワのプーシキン美術館から、17世紀から20世紀の風景画65点が来日します。神話の物語や古代への憧憬、あるいは身近な自然や大都市パリの喧騒、果ては想像の世界に至るまで、描かれた時代と場所を軸にフランス近代風景画の流れをご紹介します。様々な情景を舞台にした風景画は、その土地のにおいや太陽の煌めき、風にそよぐ木々や街のざざめきをも感じさせてくれます。なかでも、初来日となるモネの《草上の昼食》では、同時代の人物たちとみずみずしい自然の風景が見事に調和しています。印象派の誕生前夜、26歳となる若きモネの魅力溢れる作品です。ほかにもロラン、プーシェ、コロー、ルノワール、セザンヌ、ゴーガン、ルソーらの作品が集います。新緑の上野で、巨匠たちが愛した光と色彩が躍る美しい風景を巡る「旅」をどうぞお楽しみください。

Coming to Japan from Moscow's Pushkin Museum, renowned for its collection of prized French paintings, are 65 landscape paintings from the 17th to the 20th century. From images of myth and yearning for antiquity to scenes of rustic life and bustling Paris streets and, finally, to boundless landscapes of the imagination, the exhibition will survey the development of modern French landscape painting, moving chronologically, region by region. Set in varying circumstances, the paintings will evoke the smells of the land, brilliance of sunlight, windswept trees, and din of cities.

お問い合わせ先: TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

URL ▶ <http://pushkin2018.jp>

都美セレクション グループ展 2018

6月9日(土)~7月1日(日)

Group Show of Contemporary Artists 2018

Jun. 9 Sat. – Jul. 1 Sun

「都美セレクション グループ展」は、従来の発想にとらわれない新しい表現を追求する現代作家のグループ展です。絵画、映像、写真、ミクストメディア、インスタレーションとジャンルも多様な3グループの展覧会を開催します。

An exhibition planned by contemporary artists who pursue new art forms unhindered by conventional concepts. Three groups of artists will show works of wide-ranging genres, from painting and video, photography, mixed media, and installation.

Quiet Dialogue: インビジブルな存在と私たち

Quiet Dialogue: Invisible Existences and Us

複数形の世界のはじまりに展

At the beginning of the plural world

蝶の羽ばたき Time Difference 時差 vol.3

New York-Seattle-London-Tokyo

Butterfly Flutter - Time Difference 時差 vol.3

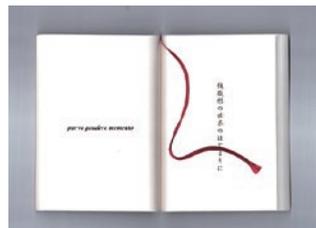
New York-Seattle-London-Tokyo

お問い合わせ先: TEL 03-3823-6921

URL ▶ <http://www.tobikan.jp>



セナ・バソズ《Time Worm》2014年 映像・30分13秒
Sena Başöz, *Time Worm*, 2014, Video, 30'13"



参考作品 / 2017
Pieces of work for reference / 2017



参考作品
Reference work



トーキョーアーツアンドスペース レジデンス2018 成果発表展 「行為の編纂」

第1期: 4月14日(土)~5月13日(日) / 第2期: 6月2日(土)~7月1日(日)

TOKAS Creator-in-Residence 2018 exhibition "Compiling behaviors, digesting actions"

Part 1: Apr. 14 Sat. – May. 13 Sun. / Part 2: Jun. 2 Sat. – Jul. 1 Sun.



Oenji Yoshida 《寓話》2016-2017

観覧料: 無料

会場: トーキョーアーツアンドスペース本郷

休館日: 月曜日(4月30日は開館)、5月1日(火)

2006年より開始したレジデンス・プログラム「クリエイター・イン・レジデンス」では、東京や海外の派遣先を舞台に、アートや映像、音楽、建築など様々なジャンルや国籍のクリエイターたちへ滞在制作の機会を提供しています。本展では、国内外のレジデンス滞在という共通の経験を経た11名のクリエイターによる成果発表をご紹介します。

Tokyo Arts and Space's Residency Program has been running since 2006, offering creators from various genres, including art, film, music and architecture, spaces to live and create, both in Tokyo and overseas. This exhibition will showcase the results of that shared residency experience – both in Japan and abroad – of eleven creators.

Admission: Free

Venue: Tokyo Arts and Space Hongo

Closed: Mon. (Except Apr. 30), May. 1 Tue.

Emerging 2018 [第1期]

7月14日(土)~8月12日(日)

Emerging 2018 Part 1

Jul. 14 Sat. – Aug. 12 Sun.



清水総二 展示風景 (世田谷美術館 区民ギャラリー、東京、2015)
撮影: 椎木静寧

若手アーティストの発掘、育成支援プログラムのひとつとして、これまでに300名近くの新たな才能を紹介してきた本展。今年度は審査を経て選ばれたアーティスト6名の作品を、2期にわたってトーキョーアーツアンドスペース本郷にて展示します。

This exhibition, acting as one of TOKAS' programs to scout for and support up-and-coming young talent, has introduced close to 300 new artists to date. This year, the work of six artists selected by the juries will be exhibited over two periods at Tokyo Arts and Space Hongo.

観覧料: 無料 会場: トーキョーアーツアンドスペース本郷

休館日: 月曜日(7月16日は開館)、7月17日(火)

Admission: Free Venue: Tokyo Arts and Space Hongo

Closed: Mon. (Except Jul. 16), Jul. 17 Tue.

オープン・スタジオ2018-2019

7月20日(金)~22日(日) 11:00~17:00

OPEN STUDIO 2018-2019

Jul. 20 Fri. – 22 Sun. 11:00-17:00



2017年3月「オープン・スタジオ2016-2017」の様子

普段はなかなか見ることのできないクリエイターの制作やリサーチ活動について展示・公開し、作家による解説やゲストを招いてのトークを開催。期間中は、宿泊室や共有スペースなど施設見学ツアーも開催します。

An event exhibiting the research and creative work of TOKAS' creators, featuring explanations from the artists and talks with invited guests. During the event there will also be tours of the facility, including living space and common spaces.

観覧料: 無料 会場: トーキョーアーツアンドスペースレジデンス

Admission: Free Venue: Tokyo Arts and Space Residency

トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)は、2017年10月1日よりトーキョーワンダーサイトから名称を変更しています。
"Tokyo Arts and Space" (TOKAS) is the new name of former Tokyo Wonder Site as of October 1, 2017.

夏休み子ども音楽会2018《上野の森文化探検》

7月29日(日) 15:00開演 / 大ホール

The 2018 Summer Family Concert: "Cultural Exploration in the Forest of Ueno"

Jul. 29 Sun. 15:00 / Main Hall



現田茂夫
Shigeo Genda (Conductor)



東京都交響楽団
Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

「バレエ」をテーマに東京バレエ団も出演する1時間のコンサートと、上野公園内の動物園・美術館・博物館等が無料・割引になる「上野1dayパス」が付き、上野のれん会加盟店でのサービスもあるお得な公演を家族揃ってお楽しみください。

This ballet-themed event will feature an hour-long concert with a performance by The Tokyo Ballet. Tickets come with an "Ueno 1day Pass" which allows discounted or free entry to Ueno Zoo and museums in Ueno Park, and special offers from member shops of the Ueno Shop Curtain Meeting, making it a great value family event.

指揮: 現田茂夫
管弦楽: 東京都交響楽団
バレエ: 東京バレエ団
曲目: チャイコフスキー「バレエ『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』より、ボロディン「オペラ『イーゴリ公』より「だったん人の踊り」他
料金: 小・中学生1,000円、S席3,000円、A席2,000円、B席1,000円
Admission: Elementary and junior high school students: ¥1,000 / S seats: ¥3,000 / A seats: ¥2,000 / B seats: ¥1,000

上野1dayパス コンサート+上野動物園+美術館+博物館 etc = 小中学生 1,000円! 大人も1,000~3,000円♪ 上野のれん会のサービス付き!

音楽 Music

上野 de クラシック / 小ホール

4月25日(水) 11:00開演 東京文化会館 presents
軽井沢チェンバーオーケストラ
5月18日(金) 19:00開演 居福健太郎(ピアノ)
6月22日(金) 11:00開演 梶川真歩(フルート)
7月17日(火) 11:00開演 笹沼樹(チェロ)

Ueno de Classic / Recital Hall

Apr. 25 Wed. 11:00 Tokyo Bunka Kaikan presents
Karuzawa Chamber Orchestra
May. 18 Fri. 19:00 Kentaro Ifuku (Piano)
Jun. 22 Fri. 11:00 Maho Kajikawa (Flute)
Jul. 17 Tue. 11:00 Tatsuki Sasanuma (Cello)

創遊・楽落らいぶ Vol.42 - 音楽家と落語家のコラボレーション -

5月25日(金) 11:00開演 / 小ホール
瀧川鯉朝(落語) / 三界秀美(クラリネット)ほか

Soyu Raku-raku Live Vol.42

May. 25 Fri. 11:00 / Recital Hall
Richou Takigawa (Rakugo) / Hidemi Mikai (Clarinet) and more

《響の森》vol.42「コバケン 名曲アラカルト」

6月26日(火) 19:00開演 / 大ホール

Hibiki no Mori: Concert vol.42

Jun. 26 Tue. 19:00 / Main Hall



小林研一郎
Kenichiro Kobayashi (Conductor)



南紫音
Shion Minami (Violin)

ヴァイオリンとオーケストラが奏でる、小作品をセレクトしました。心躍る名曲の数々をお楽しみください。

A beautiful selection of short pieces for violin and orchestra that will make your heart brim over with excitement.

指揮: 小林研一郎(東京文化会館音楽監督)

ヴァイオリン: 南紫音*

管弦楽: 東京都交響楽団

曲目: ベートーヴェン/ロマンス第2番 へ長調 op.50*、サラサーテ/ツイゴイネルワイゼン*、サン＝サーンス/序奏とロンド・カプリチオーソ op.28*、スメタナ/連作交響詩「わが祖国」より「モルダウ」、ブラームス/ハンガリー舞曲 第4番・第5番、ドヴォルザーク/スラヴ舞曲 第1番・第10番、チャイコフスキー/序曲「1812年」 op.49

料金: S席6,200円、A席4,100円、B席2,100円 ※各種割引あり

Admission: S seats: ¥6,200 / A seats: ¥4,100 / B seats: ¥2,100

Music Program TOKYO プラチナ・シリーズ 第1回

マリオ・ブルネロ ~イタリアの名匠が贈るチェロの旅~

6月15日(金) 19:00開演 / 小ホール

Music Program TOKYO Platinum Series No.1 Mario Brunello

Jun. 15 Fri. 19:00 / Recital Hall



マリオ・ブルネロ
Mario Brunello (Cello)



江口玲
Akira Eguchi (Piano)

「奇跡の音響」と称される小ホールで贅沢なひと時を。一流アーティストによる珠玉のコンサートをお楽しみください。

Spend some time in the opulent Recital Hall, known for its "miraculous" acoustics, as first-class musicians perform a concert of musical gems.

チェロ: マリオ・ブルネロ

ピアノ: 江口玲

曲目: ドビュッシー/チェロ・ソナタ ニ短調、フランク/チェロ・ソナタ イ長調、カサド/無伴奏チェロ組曲、ピアソラ/アディオス・ノニーノ、リベルタンゴ、グランタンゴ
料金: S席5,000円、A席4,000円、B席2,500円、25歳以下1,000円(要証明)

Admission: S seats: ¥5,000 / A seats: ¥4,000 / B seats: ¥2,500 / 25 and younger: ¥1,000

ワークショップ Workshop

Music Program TOKYO

東京文化会館ミュージック・ワークショップ / リハーサル室

4月22日(日) 10:30 / 12:00 / 14:30 「咲かせよう!音楽の花」
6月17日(日) 10:30 / 12:00 「タネまき、タネまき、大きなあれ」
6月17日(日) 14:30 「with My Baby」

Music Program TOKYO

Tokyo Bunka Kaikan Music Workshop / Rehearsal Room

Apr. 22 Sun. 10:30 / 12:00 / 14:30 "Music Flower"
Jun. 17 Sun. 10:30 / 12:00 "Let's grow the secret plant"
Jun. 17 Sun. 14:30 "with My Baby"

Music Program TOKYO

ミュージック・ワークショップ・フェスタ<夏>

7月21日(土)・22日(日)・24日(火)・25日(水)・27日(金)・
28日(土)・29日(日) / 東京文化会館、北とびあ、北区滝野川会館

Music Program TOKYO

Music Workshop Festa <Summer>

Jul. 21 Sat., 22 Sun., 24 Tue., 25 Wed., 27 Fri., 28 Sat., 29 Sun /
Tokyo Bunka Kaikan, Hoku Topia, Takinogawa Kaikan (Kita City)

東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサート Vol.22

4月26日(木)19:30開演(18:30ロビー開場 約60分) / コンサートホール

Tokyo Metropolitan Theatre Nighttime Organ Concert Vol.22

Apr. 26 Thu. 19:30 / Concert Hall



©Hikaru. ☆

東京芸術劇場の専属オルガニスト4名が勢ぞろいし、～春のオルガン祭り～をテーマに、パイプオルガンのほか小さなポジティブ・オルガンをステージと客席に置いて、祝祭感溢れるコンサートを行います。世界唯一、東京芸術劇場の回転するパイプオルガンのために初委嘱された近藤岳作曲『祝祭の譜～「東京都歌」による変奏曲』の初演もどうぞお楽しみに。

Tokyo Metropolitan Theatre's four hall organists will perform a celebratory concert under the theme of a "Spring Organ Festival", featuring pipe organs and positive organs positioned on the stage and in the seating area. Guests can also look forward to the debut performance of "Pieces of Organ for Celebration" - Variations on a Theme of "Tokyo Metropolitan Song" by composer Takeshi Kondo, which is the first commissioned piece written specifically for the theatre's unique revolving pipe organ.

オルガン:小林英之、新山恵理、平井靖子、川越聡子
曲目:～春のオルガン祭り～
 M.-A. シャルパンティエ / 『テ・デウム』より「前奏曲」
 L. マルシャン / 『テ・デウム』より
 W.A. モーツァルト / 教会ソナタ ハ長調 KV336(336d)
 P. ヴァレ / 3台のオルガンのためのソナタ
 近藤 岳 / 祝祭の譜～「東京都歌」による変奏曲
料金:1,000円(全席指定)
Organ: Hideyuki Kobayashi, Eri Niiyama, Yasuko Hirai, Satoko Kawagoe
Admission: ¥1,000 (All seats reserved)

ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2018

5月3日(木・祝)～5日(土・祝) / コンサートホール、シアターイースト、シアターウエスト ほか

LA FOLLE JOURNÉE TOKYO 2018

May. 3 Thu. - 5 Sat. / Concert Hall, Theater East, Theater West and more



毎年5月に東京国際フォーラム&丸の内エリアで開催されている世界最大級のクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ」が、今年度は東京芸術劇場&池袋エリアでも同時開催！赤ちゃんからマニアまでピクニック気分を楽しめる、クラシックのジャンルを超えた音楽の祝祭を繰り広げます。

La Folle Journée is one of the world's largest classical musical festivals, taking place annually in May at the Tokyo International Forum and the Marunouchi area. This year the festival extends to Tokyo Metropolitan Theatre and the Ikebukuro area, and will present a celebration of music that transcends the classical genre, that everyone from young children to die-hard classical fans can enjoy in a casual atmosphere.

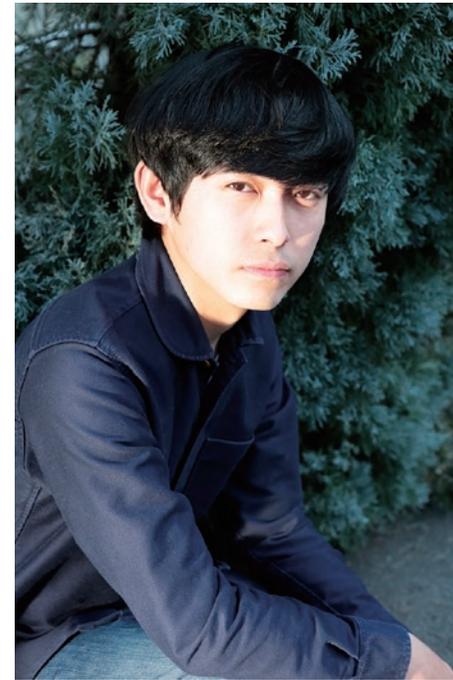
主催:ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2018 運営委員会(株式会社KAJIMOTO / 株式会社東京国際フォーラム / 豊島区 / 三菱地所株式会社)
特別協力:三菱地所 / 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

藤田貴大 新作公演「BOAT」

7月16日(月・祝)～26日(木) / プレイハウス

BOAT

Jul. 16 Mon. - 26 Thu. / Playhouse



藤田貴大 撮影 | 篠山紀信

沖縄戦に動員された少女たちに着想を得た「cocoon」(2013年)をきっかけに注目を浴び、その後も次々と話題作を発表、次世代の演劇界を牽引する若手演出家の肩書を不動のものにしたマムとジプシーの藤田貴大。東京芸術劇場でも、野田秀樹(「小指の思い出」)、寺山修司(「書を捨てよ町へ出よう」)、シェイクスピア(「ロミオとジュリエット」)らの既存の戯曲を独自の手法で鮮やかによみがえらせた。その藤田貴大が、約1年ぶりに脚本・演出を手掛ける、待望の新作をプレイハウスにて上演します。

Mum & Gypsy's Takahiro Fujita rose to prominence following his 2013 play "cocoon", inspired by the story of girls mobilized during the Battle of Okinawa. Fujita continued to attract attention with his subsequent works, cementing the role of young directors in leading the next generation of theatre. At Tokyo Metropolitan Theatre, he has breathed new life into existing works by Hideki Noda (*Memory of the Little Finger*), Shuji Terayama (*Throw Away Your Books, Rally in the Streets*) and Shakespeare (*Romeo and Juliet*). Fujita, and a cast which includes veteran of Fujita's work Idumi Aoyagi alongside successful auditionees, will present his long-awaited new work on the Playhouse stage.

作・演出:藤田貴大
出演:青柳いづみ ほか
料金:S席5,500円、A席4,500円 ほか(全席指定)

Admission: S seats: ¥5,500 / A Seats: ¥4,500 etc. (All seats reserved)

音楽 Music

東京芸術劇場ランチタイム・パイプオルガンコンサート

Vol.126 4月26日(木)12:15開演 / コンサートホール

Vol.127 7月26日(木)12:15開演 / コンサートホール

Tokyo Metropolitan Theatre Lunchtime Organ Concert

Vol.126 Apr. 26 Thu. 12:15 / Concert Hall

Vol.127 Jul. 26 Thu. 12:15 / Concert Hall

パイプオルガン講座 第72回

～芸劇のオルガンを弾いてみよう～

4月17日(火) / コンサートホール

Organ Lecture Vol.72

Apr. 17 Tue. / Concert Hall

演劇・ダンス Stage, Dance

TACT / FESTIVAL

6月29日(金)～7月1日(日) / プレイハウスほか

TACT / FESTIVAL

Jun. 29 Fri. - Jul. 1 Sun. / Playhouse and more

イベント・ワークショップ・セミナー Event, Workshop, Seminar

集まれ!池袋みんなの大道芸

5月6日(日) / 劇場前広場

Get together! Ikebukuro Street Performances

May. 6 Sun. / Tokyo Metropolitan Theatre Plaza

芸劇+まちがく

5月、7月 各1回開催 / アル・テアトロ(2階)

Geigeki + Machigaku; Lecture for art & community

May., Jul. / Al Teatro

※チケット販売システムの変更に伴い、4月1日(日)は東京芸術劇場ボックスオフィスの窓口(総合案内を除く)、電話、WEBサービスをお休みいたします。

※5月7日(月)～7月20日(金)の期間、コンサートホール内エスカレーター改修工事に伴い、コンサートホールのみ一時休館いたします。

Concert Hall will be temporarily closed from May. 7 Mon. to Jul. 20 Fri. for renovation of escalator in the Concert Hall.

アーツカウンシル東京は、世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。

Arts Council Tokyo implements a variety of programs to promote the creation and dissemination of arts and culture and increase Tokyo's appeal as a global city of arts and culture.

六本木アートナイト2018

5月26日(土)・27日(日)

Roppongi Art Night 2018

May. 26 Sat., 27 Sun.



六本木アートナイト2017の様子

©六本木アートナイト実行委員会 / mika ninagawa

「六本木アートナイト」は、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルの提案と、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的に開催する、一夜限りのアートの饗宴です。2018年のテーマは「街はアートの夢を見る」。金氏徹平(六本木ヒルズ)、宇治野宗輝(東京ミッドタウン)、鬼頭健吾(国立新美術館)の3名のアーティストを中心に、現代アート、デザイン、音楽、映像、パフォーマンス等の多様な作品を六本木の街なかに点在させ、非日常的な一夜限りの体験をつくり出します。

"Roppongi Art Night" is a one-night-only artistic feast which proposes a way of enjoying art in everyday life, while presenting a model for cutting-edge city planning in the urban expanse that is Tokyo. In 2018, with the artists Teppei Kaneuji (Roppongi Hills), Muneteru Ujino (Tokyo Midtown) and Kengo Kito (The National Art Center, Tokyo) at its center, the evening will offer an experience outside of the norm, with a wide array of works to be found around the Roppongi area, including modern art, design, music, film and performance.

会場: 六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース
料金: 無料(ただし、一部のプログラム及び美術館企画展は有料)
主催: 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、港区、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合(五十音順)】

Venues: Roppongi Hills, Mori Art Museum, Tokyo Midtown, Suntory Museum of Art, 21_21 DESIGN SIGHT, The National Art Center, Tokyo, Roppongi Shopping District and more
Admission: Free (Some programs and exhibitions will require admission fee)

東京アートポイント計画 Tokyo Artpoint Project

URL ▶ <https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/what-we-do/creation/hubs/>

東京の地域社会を担うNPOとアートプロジェクトを実施し、NPOの活動と組織の両面の成長を支援する先進的な取り組みです。目指すのは、日常や社会に芸術文化が根付き、長期的な東京の魅力創造につながる。そのために、アートプロジェクトを担う人材の育成や活動基盤の整備も重視しています。

TERATOTERA JR高円寺駅-国分寺駅エリア
 TERATOTERA
 Around JR Koenji Station and Kokubunji Station

小金井アートフル・アクション! 小金井市
 Koganei Artfull Action!
 Koganei City

アートアクセスあだち 音まち千住の縁 足立区
 Art Access Adachi: Downtown Senju - Connecting through Sound Art
 Adachi City

トッピングイースト 東東京エリア
 Topping East
 East Tokyo Area

Between's Passport Initiative 新宿区ほか都内各所
 Between's Passport Initiative
 Shinjuku area and more

東京ステイ 都内各所
 Tokyo Stay
 Area around Tokyo

500年のcommonを考えるプロジェクト「YATO」 町田市
 YATO
 Machida City

HAPPY TURN / 神津島 神津島
 HAPPY TURN / Kozu Island
 Kozu Island

Artpoint Meeting 都内各所
 Artpoint Meeting
 Areas around Tokyo

外国人向け伝統文化・芸能体験プログラム

Traditional Culture and Performing Arts Experience Program for Foreign Visitors

外国人旅行者などを対象に、日本の本格的な伝統文化・芸能を短時間で気軽に体験できるプログラムを実施。演芸、日本舞踊、長唄三味線などをそれぞれプロの講師の指導のもとに体験することができます。なお、すべてのプログラムに英語の解説が付きます。

Authentic firsthand experiences of traditional Japanese culture and performing arts are offered. Programs, such as an Engei Japanese traditional entertainment, traditional Japanese dance and Shamisen of Nagauta music are conducted by professionals. English interpretation is also provided for all programs. Please refer to the official website (www.artscouncil-tokyo.jp/en/) for further details.



演芸プログラム

江戸時代から人気がある演芸のうち「紙切り」、「曲芸」、「和妻」を、プロの手本を見ながら体験。
日程: 2018年4月14日から2019年3月30日までの毎週土曜日(ただし、12月29日は除く)
会場: 東京都江戸東京博物館 **時間:** 1日3回(各回30分)
料金: 無料(ただし、博物館の常設展観覧料が必要)

Engei Workshop (Japanese traditional entertainment)

Dates: Every Sat. from Apr. 14, 2018 through Mar. 30, 2019 (except Dec.29)
Venue: Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum **Time:** 3 times a day (30 min. each time)
Admission: Free (Admission fee for Permanent Exhibition is charged.)



日本舞踊プログラム

浴衣を着て、日本の伝統芸能である「日本舞踊」の所作を気軽に体験。
日程: 2018年4月8日から2019年3月31日までの毎週日曜日(ただし、除外日あり)
会場: 浅草文化観光センター6F **時間:** 1日3回(各回1時間) **定員:** 各回20名 **料金:** 無料

Japanese Dance Workshop

Dates: Every Sun. from Apr. 8, 2018 through Mar. 31, 2019 (There are some exceptions)
Venue: Asakusa Culture Tourist Information Center 6F
Time: 3 times a day (1 hour each time) **Enrollment limit:** 20 per session **Admission:** Free



長唄三味線プログラム

長唄のデモンストレーションと演奏体験。
日程: 2018年9月から2019年2月までの第3日曜日 **会場:** 浅草文化観光センター6F **料金:** 無料

Shamisen of Nagauta Workshop

Dates: 3rd Sun. from Sep., 2018 through Feb., 2019
Venue: Asakusa Culture Tourist Information Center 6F
Admission: Free



演芸プログラム

「獅子舞」の練り歩きと「曲芸」を体験。
日程: 7月2日(月)~6日(金) **会場:** 羽田空港国際線ターミナル5Fお祭り広場ほか **料金:** 無料

Engei Workshop (Shishimai, Kyokugei)

Dates: Jul. 2 Mon. - 6 Fri.
Venue: Haneda Airport International Passenger Terminal 5F Festival Plaza and others
Admission: Free

主催: アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

Tokyo Art Research Lab (TARL)

URL ▶ <https://tarl.jp/>

アートプロジェクトを担う全ての人のためのラボ

アートプロジェクトを担う全ての人々に開かれ、共につくりあげていく学びのプログラムです。人材の育成、現場の課題に応じたスキルの開発、資料の提供やアーカイブなどを通じ、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指しています。

● 思考と技術と対話の学校

アートプロジェクトを紡ぐ力を身体化する学校。アートプロジェクトを取り巻く言葉や体験を紡ぎ、その魅力を広げることができる人材の育成を柱に、アートプロジェクトに関わる学びの場を生み出します。

● 研究・開発

アートプロジェクトの現場の課題に応じた新たなスキルの検証と確立を目指す「研究・開発」プログラム。専門家や研究者による新しいスキルの開発や、実践の環境を整えるための研究をしています。研究成果は、TARLウェブサイトや発行物等を通じて広く公開していきます。また、一部、公開研究会などの開催により、研究プロセスへの参加機会も設けています。



① 改修工事にもなう休館について

Temporarily closed for renovations



東京都現代美術館は2016年5月30日から、大規模改修工事に伴い休館しております。リニューアルオープンは、2018年度中を予定しております。この度の改修工事で、経年劣化に伴う設備機器の更新等を行い、公共施設としてより安心で快適な美術館へと生まれ変わります。休館中の情報は、ウェブサイトや公式ツイッターで随時お知らせします。

The Museum of Contemporary Art Tokyo has been closed for renovations since May 30, 2016. The museum is scheduled to reopen in fiscal year 2018. Through the renovation, equipments will be updated and the space will be re-born as an even more comfortable public museum. We will keep you updated via our website and official Twitter from time to time.

03-5633-5860
リニューアル準備室(代表)

URL ▶ <http://www.mot-art-museum.jp>

P.30 → Map 05

東京都渋谷公園通りギャラリー

Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

展示・制作・交流の拠点として2017年11月に誕生した東京都渋谷公園通りギャラリーは、2018年度は施設改修工事のためクローズし、2019年度に再オープンいたします。休館中は、都内各所でダイバーシティの理解促進を深めるための普及啓発イベント等を実施いたします。イベント等の情報は決定次第ウェブサイトでお知らせします。

Created in November last year with the principles of display, creation and exchange at its heart, Shibuya Koen-dori Gallery will be closed this year for renovations, reopening in 2019. During the gallery's closure, the gallery will be running public awareness events across the city to promote deeper understanding of diversity. Details will be posted to the website as they are confirmed.

03-5633-5860(代表)
東京都渋谷公園通りギャラリー

URL ▶ <http://www.inclusion-art.jp>

P.30 → Map 06

「東京・ミュージアム ぐるっとパス2018」4月1日(日)発売!

Tokyo Museum Grutto Pass 2018 on sale Apr. 1 Sun.!

「ぐるっとパス2018」は、東京を中心とする92の美術館、博物館などの入場券や割引券がセットになった、1冊2,200円のお得なチケットブックです。今年度は、都内からは新規参加が5館(旧岩崎邸庭園、浜離宮恩賜庭園、新宿区立漱石山房記念館、東洋文庫ミュージアム、すみだ北斎美術館)と再参加が4館(旧東京音楽学校演奏堂、刀剣博物館、三鷹市山本有三記念館、八王子市夢美術館)、横浜から3館(そごう美術館、帆船日本丸/横浜みなと博物館、神奈川県立歴史博物館)が新規参加と、12館も増えて、さらに使い道が広がりました。

Grutto Pass 2018 is a combined ticket book offering entry tickets and discounts for 92 facilities including museums and galleries around Tokyo for ¥2,200. This year will feature five new facilities in Tokyo (Kyu-Iwasaki-tei Gardens, Hamarikyu Gardens, Natsume Soseki Memorial Museum, Toyo Bunko Museum and The Sumida Hokusai Museum), four returning facilities (Sogakudo of The Former Tokyo Music School, The Japanese Sword Museum, Mitaka City Yuzo Yamamoto Memorial Museum, and HACHIOJI YUME ART MUSEUM) and three new facilities in Yokohama (SOGO MUSEUM OF ART, Sail Training Ship NIPPON MARU / Yokohama Port Museum, and Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History), making it better value than ever.

対象施設: 92の美術館・博物館・動物園・植物園・庭園
 ※各施設指定の展示に1回のみご利用いただけます。
 ※「入場できる展示」と「割引券として使える展示」があります。
販売価格: 2,200円(大人料金のみ)
販売期間: 2018年4月1日(日)～2019年1月31日(木)
有効期間: 最初にご利用日から2ヶ月間(ただし最終有効期限は2019年3月31日)
販売場所: 「ぐるっとパス2018」が使える92施設の窓口のほか、東京観光情報センター(都庁第一本庁舎1階)、TIC TOKYO(JR東京駅日本橋口)等でもお求められます。



利用方法や販売場所など詳細は、「ぐるっとパス」オフィシャルサイトでご確認ください。

URL ▶ <http://www.rekibun.or.jp/grutto/>

東京都歴史文化財団のWEBサイトがリニューアル!

「ART NEWS TOKYO」がスマホでも読めるようになりました!



この度、東京都歴史文化財団のWEBサイトを全面リニューアルしました。都立文化施設のイベント情報が一目でわかる検索機能や、ニュース記事・アートコラムなどのコンテンツを充実。スマートフォンやタブレット等にも対応しました。これに伴って、「ART NEWS TOKYO」WEB版も登場。スマートフォンでも読みやすくなったほか、ゲストの未公開フォトなどWEB版だけの限定コンテンツも!ぜひご利用ください。

The Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture's website has undergone a complete redesign. The new site supports smartphones and tablets, and includes a search function where you can see information on events at Tokyo's municipal cultural facilities at a glance, and enhanced the news articles and art columns. A web version of ART NEWS TOKYO is also available with improved support for mobile devices, and includes web-only content, such as unused photos of the issue's featured guest. Be sure to check it out!

URL ▶ <http://www.rekibun.or.jp>

アボット奥谷の TOKYO ART 探訪

ストーリー／文・アボット奥谷

東京のアートにまつわるあれこれをマンガでレポート。

今回は、出演者やスタッフの気分が味わえる東京文化会館バックステージツアーの様子をお届けします。



END

東京文化会館 バックステージツアー

クラシック音楽やオペラ・バレエの公演を中心に開催している東京文化会館の舞台裏をめぐるガイド付きツアー。普段は見る事ができない舞台裏や舞台機構、楽屋エリアなどが見学できるほか、照明の操作体験などの楽しいプログラムも用意されています。

次回開催のご案内

日時: 4月18日(水) 昼の部14:30/
夜の部19:00開始(所要時間 約1時間30分)
対象: 中学生以上
定員: 各回60名
参加費: 500円(保険料を含む)
※残数僅少(3月6日現在)
お問い合わせ先: 03-5685-0650
(東京文化会館チケットサービス)
URL ▶ http://www.t-bunka.jp/stage/host_10605.html



カーテンコール体験の様相

次回以降の開催日は未定です。決定次第、東京文化会館ウェブサイトにてお知らせします。

アボット奥谷(アボット おくたに)

イラストレーター。ゆるくてかわいいキャラクターを得意とし、さまざまな媒体で幅広く活躍中。

東京都江戸東京博物館蔵

明治天皇、京都から東京へ



歌川芳虎《東京府御東幸行烈図》明治2(1869)年頃
Yoshitora Utagawa, *Figure that emperor comes from Kyoto to Tokyo in 1868*,
c.1869, collection of Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

明治天皇が京都から東京へと行幸する様子を描いた浮世絵。沿道には輿に乗った天皇を一目見ようと、多くの東京府民が詰めかけています。

「東京奠都」の賑やかな一幕



歌川国輝(二代)《東京府御酒頂戴 江戸橋日本橋風景》明治元(1868)年
Kuniteru Utagawa II, *The sake that was given by the Emperor to the people of Tokyo, being transported over Nihonbashi Bridge*, 1868, collection of Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

明治元年、江戸城改め東京城に滞在中の天皇から御酒が町中に下賜され、まるでお祭りのような活況を呈しています。「東京奠都」を象徴する賑やかな場面です。



こちらで紹介した作品は、収蔵品検索サイト「TOKYO DIGITAL MUSEUM (トーキョーデジタルミュージアム)」でもご覧いただけます(浅井忠《伝通院》を除く)。作品画像を拡大して見ることができるZOOM機能や、「注目のコレクション」では作品解説も掲載。ぜひ他の作品も検索してみてください。

URL ▶ <http://digitalmuseum.rekibun.or.jp/>

東京都写真美術館蔵 外国人が写した150年前の江戸の街



フェリーチェ・ベアト《愛宕山から見た江戸のパノラマ》文久3-元治元(1863-1864)年頃 鶏卵紙5枚構成 Felice Beato, *Panorama of Edo from Atagoyama Hill*, c.1863-64, Albumen print, collection of Tokyo Photographic Art Museum

日本の写真は、訪日した外国人写真技師によって始まりました。フェリーチェ・ベアトは1863年から20年以上に渡って日本に滞在し、江戸幕府から明治政府へと移りゆく激動の時代を写真に記録し、日本の初期写真に大きな影響を与えた人物です。このパノラマ写真は、武家屋敷が整然と建ち並ぶ、幕末期の江戸を一望できる愛宕山からの眺め。「東京」へと変貌する直前の街並みがリアルに写し出されています。

Go Back 150 Years!

～収蔵資料から見る 150年前の日本～

See the Japan of 150 years ago through museum collections

2018年は、「江戸」が「東京」になって 150年、明治改元から150年を迎える節目の年です。近代化への大きな転換点となった150年前の様子を知るべく、都立文化施設の収蔵品から当時の人々の生活や風景に触れられる資料をピックアップ! この機会にちょっとしたタイムトラベルを楽しんでみませんか?

日本写真の開拓者



下岡蓮杖《(酒を酌み交わす三人の男)》文久3年-明治8(1863-1875)年頃 鶏卵紙に手彩色
Renjo Shimooka, *Three craftsmen drinking*,
c.1863-75, Hand-colored albumen print, collection of Tokyo Photographic Art Museum

1862年、横浜で写真館を開業した下岡蓮杖は、日本における「写真開祖」のひとり。日本の風俗や人物を捉えた名刺判写真を数多く制作しました。カラー写真が実用化されていなかった当時、白黒写真に浮世絵師や日本画家たちが手彩色したこのような写真が外国人観光客に土産物として人気を博しました。

東京都現代美術館蔵 徳川の墓所を描いた洋画



浅井忠《伝通院》明治26(1893)年 油彩/カンヴァス
Chu Asai, *Dentsu-In Temple*, 1893, Oil on canvas, collection of Museum of Contemporary Art Tokyo

日本洋画壇の先覚者・浅井忠が、「伝通院」(現・文京区)にある徳川家ゆかりの人々の墓所を描いた油彩作品。浅井らが創立した洋画研究機関「明治美術会」の教場がこの近隣にあり、同寺の境内も題材となりました。江戸から明治へと移行行く時代背景が偲ばれる一枚です。

「東京150年」を記念する展覧会

●「首都東京の150年展(仮称)」東京都江戸東京博物館

8月7日(火)~10月8日(月・祝)

東京の歴史と文化について、幕末から現代までを写真や紙媒体といった視覚資料などでたどります。

●「看板建築展」江戸東京たてもの園

3月20日(火)~7月8日(日) 詳細: P10参照

●「東京一都市とたてもの、ひと」江戸東京たてもの園

7月24日(火)~2019年1月20日(日)

東京誕生150年を記念し、東京に建てられた様々な建造物を通して、都市の変遷を紹介します。

「明治150年」を記念する展覧会

●「写真発祥地の原風景 長崎」東京都写真美術館

3月6日(火)~5月6日(日)

詳細: P11参照

公益財団法人 東京都歴史文化財団

Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture



パートナーシップのご案内

学生の皆様に都立文化施設を有効にご活用いただき、文化に親しむ機会を提供することを目的とした、大学や専門学校を対象とする会員制度です。

【会員校への主な特典】

- ① 学生の無料入場
 - ・常設展(江戸東京博物館、江戸東京たてもの園)
 - ・収蔵展(東京都写真美術館)
 - ・庭園(東京都庭園美術館)
- ② 特別展・企画展の特別割引(期間限定)
- ③ 会員校限定のコンサート等の公開リハーサル、解説付きのバックステージツアー等へのご招待
- ④ コンサートや観劇等の割引 ほか



会員校限定のバックステージツアー
※東京文化会館大ホール舞台上での解説

詳細は ▶ <https://www.rekibun.or.jp/about/project/partnership/>

ご支援等のお願い - 東京の文化の継承と発展、創造のために -

首都東京の芸術文化の振興と江戸東京の歴史的文化遺産の継承、発展に努めている当財団では、事業趣旨にご賛同いただける皆様や法人からのご支援を広くお願いしております。より魅力的な事業を継続的に展開していくためには、皆様からのご支援を欠くことが出来ません。ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

詳細は ▶ <https://www.rekibun.or.jp/about/support/>

支援制度には以下の2種類がございます。

- 【ご支援】** 一口50,000円～(個人・法人を問いません。)
(特典)当財団が主催する展覧会などへご招待します。
二口以上ご支援いただいた方には「内覧会」へもご招待します。(共催展等、一部対象外の事業あり)
- 【ご寄附】** 一口2,000円～(個人)、一口10,000円～(法人)
(特典)金額により、税制上の優遇措置が受けられます。

チケットプレゼント

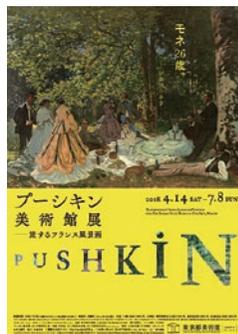
「ART NEWS TOKYO」読者限定で、展覧会等の招待券を抽選でそれぞれ5組10名様にプレゼントします!
はがきに【必要事項】をご記載の上、4月23日(月)までに(消印有効)ご応募ください。

【必要事項】

- ①お名前 ②ご住所
- ③ご希望の展覧会(AかBの1つを選択)
 - A 東京都美術館「プーシキン美術館展 — 旅するフランス風景画」
 - B 東京都江戸東京博物館「常設展示室」
- ④本誌を読んでいただいたご感想

【応募先】 〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1
東京都歴史文化財団「ART NEWS TOKYO」担当 宛て

- A** 東京都美術館
「プーシキン美術館展
— 旅するフランス風景画」
- B** 東京都江戸東京博物館
「常設展示室」
(2019年3月31日まで有効)



※記載された個人情報は本企画以外では使用しません。
抽選結果はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

10:00-16:30

6 / 9 SAT
10 / 10 SUN

MUSABI

OPEN CAMPUS

2018

8 / 18 SAT
19 / 19 SUN
10:00-16:00

武蔵野美術大学 オープンキャンパス2018
異なる2つのオープンキャンパスで「ムサビ」を知り尽くす!
高校生、中学生はもちろん、保護者の方も是非体験してください

オープンキャンパス2018
-SEEING IS BELIEVING-
2018年6月9日(土) 10日(日)

真夏のオープンキャンパス2018
-I KNOW THAT I KNOW NOTHING-
2018年8月18日(土) 19日(日)

美術・デザインと美大の本当を知る! 体験する!

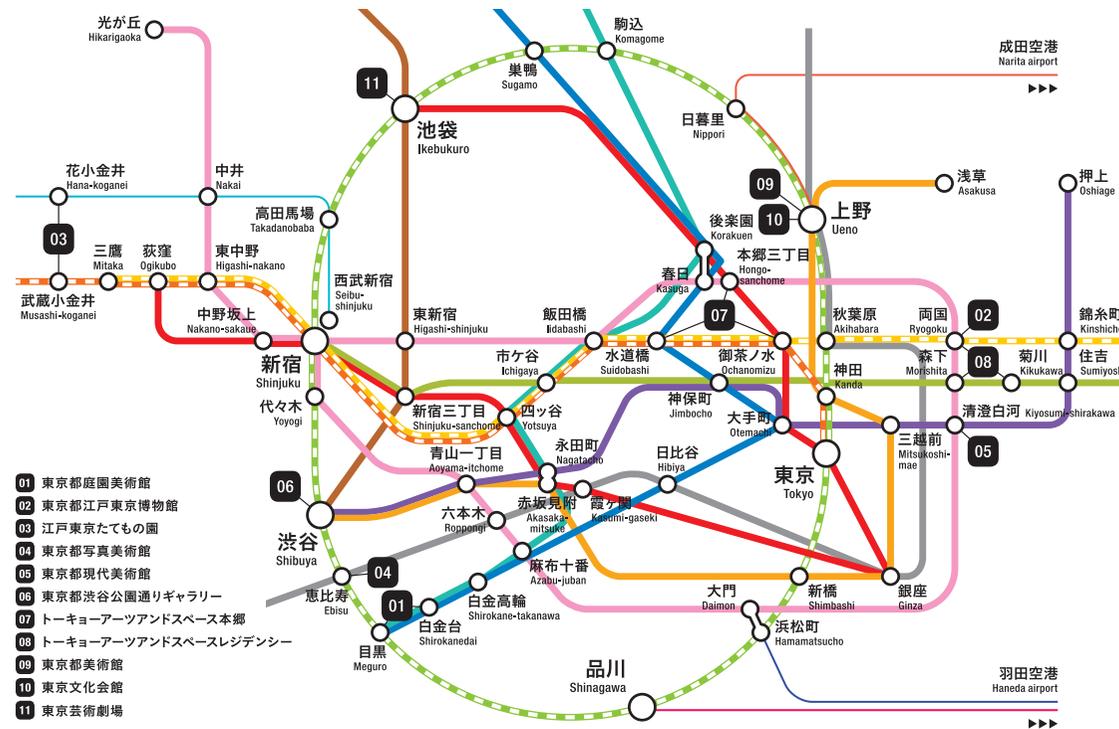
Maps & Information

各種優待のご案内

	身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方	65歳以上の方(要証明)	小学生以下、都内在住・在学の中学生の方	「家族ふれあいの日」(毎月第3土曜日と翌日曜日) ※都民で、18歳未満のお子さまをお連れの方(要証明)
東京都庭園美術館	手帳所持者及びその付添の方1名無料	庭園 半額 第3水曜日は無料	庭園 無料	庭園 半額
東京都江戸東京博物館	手帳所持者及びその付添の方2名無料	常設展 半額 第3水曜日は無料	常設展 無料	常設展 半額(2名まで)
江戸東京たてもの園	手帳所持者及びその付添の方2名無料	入園料 半額 第3水曜日は無料	入園料 無料	入園料 半額
東京都写真美術館 (展覧会のみ)	手帳所持者及びその付添の方2名無料	第3水曜日は無料	観覧料 無料	観覧料 半額

- 東京都美術館の各種優待については、展覧会により異なりますので、詳細はウェブサイトにてご確認ください。
- 東京都現代美術館は改修工事のため全面休館中です。● 展覧会等によっては、割引にならない場合がございます。Admission fee may be subject to discount. Please check the website of each facility.

主な路線図 Route map



- 01 東京都庭園美術館
- 02 東京都江戸東京博物館
- 03 江戸東京たてもの園
- 04 東京都写真美術館
- 05 東京都現代美術館
- 06 東京都渋谷公園通りギャラリー
- 07 トーキョーアーツアンドスペース本郷
- 08 トーキョーアーツアンドスペースレジデンシー
- 09 東京都美術館
- 10 東京文化会館
- 11 東京芸術劇場

- JR山手線 JR Yamanote Line
- JR中央線 JR Chuo Line
- JR総武線 JR Chuo-Sobu Line
- 都営大江戸線 Toei Subway Oedo Line
- 都営三田線 Toei Subway Mita Line
- 都営新宿線 Toei Subway Shinjuku Line
- 東京メトロ半蔵門線 Tokyo Metro Hanzomon Line
- 東京メトロ銀座線 Tokyo Metro Ginza Line
- 東京メトロ丸の内線 Tokyo Metro Marunouchi Line
- 東京メトロ南北線 Tokyo Metro Namboku Line
- 東京メトロ副都心線 Tokyo Metro Fukutoshin Line
- 東京メトロ日比谷線 Tokyo Metro Hibiya Line
- 西武新宿線 Seibu Shinjuku Line
- 京急本線 Keiiky Main Line
- 東京モノレール Tokyo Monorail
- 成田スカイアクセス線 Narita SKY ACCESS Line

01 東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum



所在地: 〒108-0071 港区白金台5-21-9 **交通:** JR目黒駅東口・東急目黒線目黒駅正面口より徒歩7分、都営三田線・東京メトロ南北線白金台駅より徒歩6分 **開館時間:** 10:00-18:00 **休館日:** 第2・第4水曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始 **Address:** 5-21-9 Shirokanedai, Minato-ku, Tokyo 108-0071 **Opening hours:** 10:00-18:00 **Closed:** 2nd and 4th Wednesday (or the following weekday when Wednesday falls on a national holiday) and New Year holidays **Tel:** 03-5777-8600(ハローダイヤル) **URL:** <http://www.teien-art-museum.ne.jp> 西洋庭園の整備とレストランの改築が完了し、2018年3月21日(水・祝)に総合開館しました。Grand reopened on Mar. 21 Wed., after the completion of European Garden's maintenance and reconstruction of the restaurant.

02 東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum



所在地: 〒130-0015 墨田区横綱1-4-1 **交通:** JR両国駅西口より徒歩3分、都営大江戸線両国駅A3・A4出口より徒歩1分 **開館時間:** 9:30-17:30(土曜日-19:30) **休館日:** 月曜日(祝休日の場合は翌平日) **観覧料:** 常設展は一般600円、大学生・専門学校生480円、65歳以上・都外中学生・高校生300円、小学生以下・都内在住・在学中学生は無料 **Address:** 1-4-1 Yokooami, Sumida-ku, Tokyo 130-0015 **Opening hours:** 9:30-17:30 (-19:30 Saturday) **Closed:** Mondays (When Monday falls on national holiday closed on the following weekday) **Admission Fee:** Adults ¥600/Students (College/University) ¥480/Seniors (65 and over), Junior high school (outside of Tokyo) and high school students ¥300 **Tel:** 03-3626-9974 **URL:** <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp> 特別展示室は改修工事のため2019年3月末(予定)まで休室しております。Special Exhibition Gallery are closed until the end of Mar. 2019 (tentatively).

03 江戸東京たてもの園

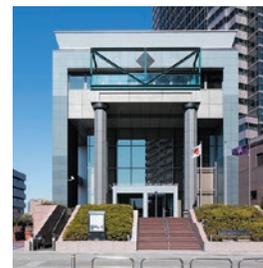
Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum



所在地: 〒184-0005 小金井市桜町3-7-1 **交通:** JR武蔵小金井駅北口バス2番3番乗り場より「小金井公園西口」下車徒歩5分、西武新宿線花小金井駅南口よりバス「南花小金井」(小金井街道沿い)バス停より「武蔵小金井駅」行、「小金井公園西口」下車徒歩5分 **開館時間:** 4-9月 9:30-17:30、10-3月 9:30-16:30 **休園日:** 月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始 **入園料:** 一般400円、大学生320円、65歳以上・都外中学生・高校生200円、小学生以下・都内在住・在学中学生は無料 **Address:** 3-7-1 Sakura-cho, Koganei-shi, Tokyo 184-0005 **Opening hours:** Apr.-Sep. 9:30-17:30, Oct.-Mar. 9:30-16:30 **Closed:** Mondays (When Monday falls on national holiday closed on the following weekday) and New Year holidays **Admission Fee:** Adults ¥400/Students (College/University) ¥320/Seniors (65 and over), Junior high school (outside of Tokyo) and high school students ¥200 **Tel:** 042-388-3300 **URL:** <http://www.tatemonoen.jp>

04 東京都写真美術館

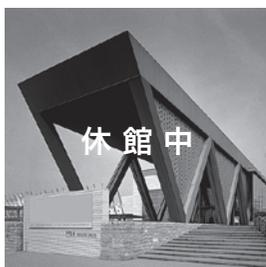
Tokyo Photographic Art Museum



所在地: 〒153-0062 目黒区三田1-13-3(恵比寿ガーデンプレイス内) **交通:** JR恵比寿駅東口より徒歩7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分 **開館時間:** 10:00-18:00(木・金曜日-20:00) **休館日:** 月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始および臨時休館日 **Address:** Yebisu Garden Place, 1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153-0062 **Opening hours:** 10:00-18:00 (-20:00 Thursdays and Fridays) **Closed:** Mondays (When Monday falls on national holiday closed on the following weekday), New Year holidays and other temporary closures due to special circumstances. **Tel:** 03-3280-0099 **URL:** <http://topmuseum.jp>

05 東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo



所在地: 〒135-0022 江東区三好4-1-1 **交通:** 東京メトロ半蔵門線清澄白河駅B2出口より徒歩9分、都営大江戸線清澄白河駅A3出口より徒歩13分

Address: 4-1-1 Miyoshi, Koto-ku, Tokyo 135-0022

Tel: 03-5633-5860 (Temporary Office)

URL: <http://www.mot-art-museum.jp>

改修工事のため全面休館中

Temporarily closed for renovations.

06 東京都渋谷公園通りギャラリー

Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery



所在地: 〒150-0041 渋谷区神南1-19-8 渋谷区立労働福祉会館1F **交通:** JR・東急東横線・田園都市線・京王井の頭線・東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線渋谷駅ハチ公口より徒歩8分

Address: Shibuya Workers' Welfare Hall 1F, 1-19-8 Jinnan, Shibuya-ku, Tokyo 150-0041

Tel: 03-5633-5860 (Temporary Office)

URL: <http://www.inclusion-art.jp/>

改修工事のため休館中

Temporarily closed for renovations.

07 トーキョーアーツアンドスペース本郷

Tokyo Arts and Space Hongo



所在地: 〒113-0033 文京区本郷2-4-16 **交通:** JR 御茶ノ水駅御茶ノ水橋口・水道橋駅東口、都営三田線水道橋駅A1出口、東京メトロ丸ノ内線本郷三丁目駅1番出口、御茶ノ水駅1番出口、都営大江戸線本郷三丁目駅3番出口より各徒歩7分 **開館時間:** 11:00-19:00 **休館日:** 月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始

Address: 2-4-16 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033

Opening hours: 11:00-19:00 **Closed:** Mondays (When Monday falls on national holiday closed on the following weekday) and New Year holidays

Tel: 03-5689-5331 **URL:** <http://www.tokyoartsandspace.jp>

2017年10月1日より、トーキョーワンダーサイト本郷から名称を変更しています。

08 トーキョーアーツアンドスペースレジデンス

Tokyo Arts and Space Residency



所在地: 〒130-0023 墨田区立川2-14-7-1F **交通:** 都営新宿線菊川駅A1出口より徒歩9分、都営新宿線・大江戸線森下駅A5出口より徒歩11分、JR・都営大江戸線両国駅より徒歩15分

Address: 1F, 2-14-7 Tatekawa, Sumida-ku, Tokyo 130-0023

Tel: 03-5625-4433 **URL:** <http://www.tokyoartsandspace.jp>

2017年10月1日より、トーキョーワンダーサイトレジデンスから名称を変更しています。

オープン・スタジオ等開催時のみ一般公開

Open to the public only when events are held.

09 東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum



所在地: 〒110-0007 台東区上野公園8-36 **交通:** JR上野駅公園口より徒歩7分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩10分、京成電鉄京成上野駅より徒歩10分 **開館時間:** 9:30-17:30(特別展開催中の金曜日は20:00まで) **休館日:** 第1・第3月曜日、特別展・企画展は月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始

Address: 8-36 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-0007

Opening hours: 9:30-17:30 (Special Exhibition: ~20:00 Friday) **Closed:** Rental Gallery: 1st and 3rd Monday and New Year holidays / Special Exhibition Gallery: Mondays (When Monday falls on national holiday closed on the following weekday) and New Year holidays

Tel: 03-3823-6921 **URL:** <http://www.tobikan.jp>

10 東京文化会館

Tokyo Metropolitan Festival Hall, Tokyo Bunka Kaikan



所在地: 〒110-8716 台東区上野公園5-45 **交通:** JR上野駅公園口より徒歩1分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩5分、京成電鉄上野駅より徒歩7分 **開館時間:** 10:00-22:00 **休館日:** 年末年始

Address: 5-45 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-8716

Opening hours: 10:00-22:00 **Closed:** New Year holidays

Tel: 03-3828-2111 **URL:** <http://www.t-bunka.jp>

11 東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre



所在地: 〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 **交通:** JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分、地下通路2b出口直結 **開館時間:** 9:00-22:00 **休館日:** 年末年始

Address: 1-8-1 Nishi-Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo 171-0021

Opening hours: 9:00-22:00 **Closed:** New Year holidays

Tel: 03-5391-2111 **URL:** <http://www.geigeki.jp>

2018年5月7日(月)～7月20日(金)の期間、コンサートホール内エスカレーター改修工事に伴いコンサートホールのみ一時休館。Concert Hall will be temporarily closed from May. 7 Mon. to Jul. 20 Fri. for renovation of escalator in the Concert Hall.

※各施設では、保守点検、工事休館などにより、開館日時が変更になることがあります。詳細はウェブサイトをご参照ください。

*Opening hours may be subject to change at short notice due to facility maintenance or other unexpected circumstances. Please refer to the website of each facility for details.

※美術館・博物館の入館は閉館の30分前までです。

*Last admission to the museum is 30 minutes before closing.

ART NEWS TOKYO

2018.04 - 07

©Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture. All rights reserved.

本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。

※掲載した情報は2018年3月現在の情報です。

やむを得ない事情などで開催内容が変更になることがあります。

発行日: 2018年4月1日(4、8、12月発行)

発行: 公益財団法人東京都歴史文化財団

〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1

Tel. 03-5610-3503

企画: 公益財団法人東京都歴史文化財団

事務局 総務課 企画広報係

編集: 株式会社スプー

アートディレクション・デザイン: 株式会社ルームコンポジット

翻訳: 株式会社ミス

印刷・製本: 株式会社平河工業社

ミュージアム & シアターの最新情報 [アート・ニュース・トーキョー]

ART NEWS TOKYO

2018
04-07

Museum and Theatre Information



東京都庭園美術館 ウェルカムルーム

まち
アートとカルチャーがある都市、東京。

Tokyo, the City of Arts and Culture.

Tokyo Tokyo
FESTIVAL

東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum

東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

東京都写真美術館

Tokyo Photographic Art Museum

東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo

東京都渋谷公園通りギャラリー

Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

トーキョーアーツアンドスペース

Tokyo Arts and Space

東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum

東京文化会館

Tokyo Metropolitan Festival Hall,
Tokyo Bunka Kaikan

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

アーツカウンシル東京

Arts Council Tokyo

東京都歴史文化財団へのご支援のお願い

公益財団法人東京都歴史文化財団では、当財団の芸術文化活動展開の趣旨にご賛同いただける皆様や、日頃から社会貢献にご理解のある企業の皆様に対しまして、当財団が主催する事業や展覧会に対するご支援を広くお願いしております。詳細は26ページをご覧ください。

公益財団
法人

東京都歴史文化財団